

化学品商社のCBCは、バイオ医薬品やワクチンのシングルユース製造工程に用いる部材や装置の国産サプライチェーン（SC）を構築した。従来手がけてきた樹脂製バッグに加え、新たに自社ブランドの攪拌ミキサーを200リットル以上で上市した。2025年内には1000リットル以上対応ミキサーの市場投入も計画する。バッグのアクセスンブリーから液体充填、装置製造、試験業務までを国内で完結する体制を整備し、国内市場を席巻する外資の牙城を切り崩す。

CBC

これまでバイオ医薬品やワクチンの保管、シングルユース用の樹脂製バッグの製造に製造費を投じて委託してきたが、製造工程で用いる攪拌用ミキサーも内製化した。ミキサー製造は協力会社に研究開発費を投じて委託し、自社ブランドで販売する。同社によると、攪

バイオ医薬品・ワクチン製造部材や装置 シングルユース国産供給網

攪拌ミキサーを投入

攪拌ミキサーの国産化は初という。液体はもちろん、粉体など固体品との均一混合が可能で、トランプルやメンテナンスもきめ細かく対応するのが特徴。すでに、製薬企業で受注も決まり、拡販に弾みをつけている。1000リットル装置のデモ機も作製中で、来年度の上市予定だ。

バイオ医薬品製造はストレレンス製設備での製造が主流だったが、滅菌や洗浄の手間を嫌って、昨今は品目ごとに部材を取



固体×液体攪拌用ミキサー。設置する3Dバッグも国内で製造する

り換えるシングルユースバッグの使用が広がって機能を持つ商社の特徴を生かし、フィルムを協力

原袋を製造し、自社工場も生かして拡販する。

でチューブ類などを接続。また、出資会社のクオルテック（大阪府堺市）が部品の信頼性評価など安全性試験業務も内製化する体制を構築してきた。昨年には味の素コージンバイオと組んでバッファ充填品の提供も加えることで、付帯品の付いたバッグから、バッファ原料調達、充填まで一貫体制を整備した。

さらに、今回、攪拌ミキサーまで手がけることで国産SCを売りに差別化を図る戦略。グループの医薬品部隊が持つ製薬企業や開発・製造受託（CDMO）とのパイプ

国内市場は海外メーカーが席巻し、シングルユースバッグは、独ザルトリウスや米サイモフィッシュャー・サイエンティフィック、米サイティバナド海外勢が装置からの一貫供給体制を敷いて9割近いシェアを握る。もつとも、コロナ禍でSCが混乱し、深刻な品不足に直面した。経済産業省はワクチン生産体制強化の

ためのバイオ医薬品製造拠点の整備事業などを進めており、CBCも国産SCを強みに、短納期や価格メリットを生かし一定シェアを確保したい考えだ。